

## 事業報告

事業名 令和7年度 文化財市民講座「奈古谷・多田地区に伝わる歴史文化」  
日時 令和7年5月10日（土）午後1時から午後4時まで  
場所 韮山生涯学習センター 2階 大会議室  
来場者人数 一部（区民・関係者向け）64名、二部（一般向け）90名  
登壇者 田島整（公益財団法人上原美術館 上席学芸員）  
池谷初恵（伊豆の国市企画課 学芸員）

### （1）一部（区民・関係者向け）13時～14時

✓ 挨拶（奈古谷区鈴木区長）

✓ 講座の目的について（説明：赤畑課長）

文化財展示施設の設置に伴い、奈古谷区・多田区が伊豆の国市文化財保存活用計画の「文化財保存活用区域」でありながら、講座等で取り上げる機会が少なかったため、本講座を企画したことを説明した。

✓ 講座「伊豆の仏像-奈古谷地区を中心に-」（講師：田島整氏）

長年、仏像研究者の間で議論が交わされている伊豆の仏像の南北問題（南部には平安時代の作品が多く、北部には鎌倉時代の作品が多いこと）について説明し、市内に平安時代の仏像は無いとされていたが、近年の調査により平安時代の仏像が発見されたことを述べた。

市内の願成就院の仏像群は、日本彫刻史の歴史を変えた定朝の流れをくむ天才仏師運慶の最高傑作であり、その作風が定朝様と異なるのは伊豆という土地に理由があるのではないかと考察した。そして、奈古谷区の国清寺にも鎌倉～南北朝時代の仏像とその断片が複数残っており、国清寺の歴史を紐解くうえで重要な文化財であるとした。

✓ 講座終了後、希望者のみ、元伊豆の国市学芸員の原茂光氏の案内による国清寺の見学が行われた。（元々は毘沙門堂までウォーキングする予定であったが、雨天のため変更となった。）また、高岩院住職のご厚意で、昭和の彫刻家澤田政廣が制作した通常非公開の毘沙門天像の見学会が行われた。

### （2）二部（一般向け）14時30分～16時

✓ 挨拶（赤畑企画課長）

✓ 講座Ⅰ「概論 奈古谷・多田区域に伝わる歴史文化-古墳・寺院・石造物-」（講師：池谷初恵学芸員）

奈古谷・多田区域は重要な歴史が残る地域として『伊豆の国市文化財保存活用地域計画』で「文化財活用区域」に設定されており、多田大塚古墳群や芋ヶ窪古墳群は5世紀～6世紀の古墳でありそれを裏付ける文化財が多数出土していること、南北朝時代に山内上杉氏の拠点となったことから国清寺が建てられたこと、近隣には毘沙門堂や奈古谷の七ツ石などが残ることから、この地域は「古代から中世のわたる宗教空間」とテーマ付けられると説明した。

✓ 講座Ⅱ「伊豆の仏像-奈古谷地区を中心に-」（講師：田島整氏）

1部の講座と同内容を説明した。

## 記録写真



写真 講座のようす